

編集発行
 日本共産党鶴岡市議団
 鶴岡市美原町16-5
 電話22-3313

高橋 ちづ子
 智子
 いわぶち友
 国会議員連絡所
 鶴岡市美原町16-5
 ☎ 22-3313
 FAX24-4096

無料生活相談所
 関 徹
 長者町11-26
 24-2414

加藤 一
 宝徳 仲田56
 64-3941

菅井 巖
 中 桶 9 6
 33-0534

坂本 昌栄
 稲生2-33-47
 24-5993

山田 守
 宝田1-9-1-31
 23-6548

長谷川 剛
 日枝坂本43-10
 41-9148

三セク自帰の温泉施設経営悪化

市行政改革推進委 今後の方向について協議

第2回鶴岡市行政改革推進委員会（会長 上野隆一出羽商工会長）が10月30日開かれ、第三セクターが運営する日帰り温泉施設の今後の方向について協議がされました。

ぽっぽの湯・ゆ〜Townは存続危機

藤島地域の「長沼温泉ぽっぽの湯」の現状は、利用者の減少や源泉を温める燃料費の激増などで温泉部門が赤字となり、食堂・宴会部門の恒常的赤字により経営が悪化していること、

「くしびき温泉ゆ〜Town」の現状は、恒常的に市から燃料費掛かり増し分管理委託料（700万円〜650万円）を支出してきましたが、平成30年度に揚湯ポンプの落下事故により3カ月休止し、令和元年度になっても顧客が戻りきらず、食堂・宴会部門の赤字が続いていること、

両施設とも新型コロナウイルスの影響で1カ月休業を行ったことから急速に経営が悪化し、このままでは経営が存続できない状況にあります。

休業補償支援、委託料増額

6月議会では、新型コロナウイルスによる休業補償のために、市から1004万9千円を支援し

①市の財政負担の削減（市の財政負担が令和元年度2319万円）、

②新規利用者の拡大、

③経営指標の設定、

④運営責任の明確化の4つが例示され、温泉入浴に特化した運営、介護・フレイル予防、健康事業の実施、直営委託の廃止及び施設廃止の検討基準を設定、市役所の横断的なサポート体制による連携強化などがあげられました。

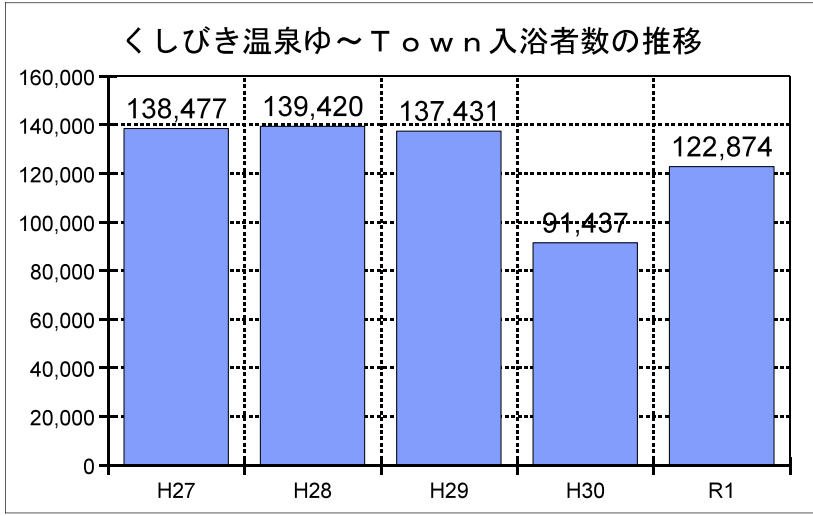
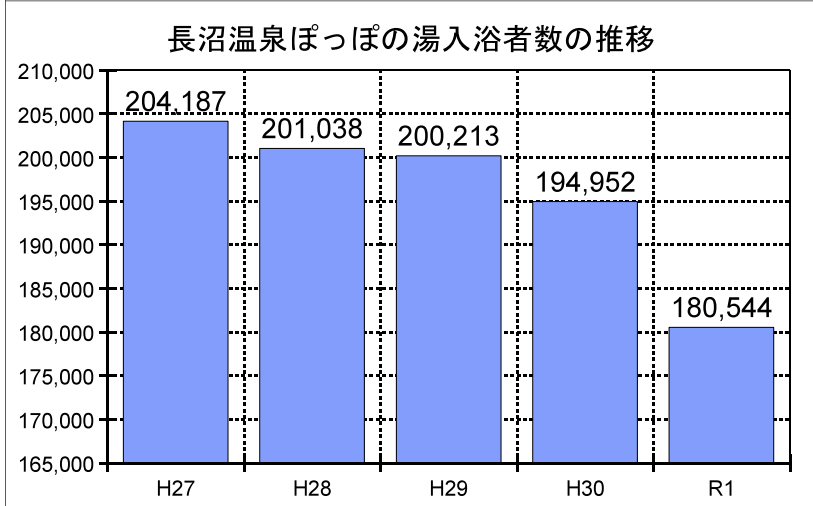
「行政サービスでスタートしたわけなので、利潤追求だけではなく考えてほしい。入浴し食堂で食べることで地元の人を楽しみにしている」と言った意見が出されました。

地元自治振興会から施設存続と支援強化の声

開業に至る経過は、旧町村が住民の健康増進、観光振興、地域活性化などの目的で始めたこともあり、行政サービスの一環としての位置づけがあります。また、地元の自治振興会などからも施設存続と支援強化の声が出されています。

今後、19日に第3回委員会を開催し、施設継続のための素案を提示する予定です。

加藤 一、坂本 昌栄、長谷川 剛市議が傍聴参加しました。



「PRは目に飛び込んでくる情報が必要だ。スマホに入る情報や、YouTubeの広告も検討してほしい」、「子どもが小さい頃は祖母が連れていく事があった。家族で遊びに行った帰りに温泉に入っていくという事もあった」、

「ゆぽかには会議と懇親会で使われており、入浴だけでなく多目的な活用がある。しかし施設の老朽化など、どこも同じ課題が出てく



世帯数減少・豪雪の 困難語られる

市議会総務常任委が大綱で意見交換会

鶴岡市議会では、新たに「市民との意見交換会」を開催することにしました。

目的は、「市民に開かれた議会を目指して、議会活動に関する情報を説明し、議会機能について理解を深めてもらうため」としています。

意見交換会は4つの常任委員会ごとに開催します。

最初に総務常任委員会が10月20日、大綱地区で開催しました。

大綱地区では、鶴岡市のモデル事業として「小さな拠点」づくり事業をすすめ、「ローカルデザイナー」を配置し、地域内移動や買い物支援、産直、地区のイベントなどが取り込まれています。

転出者のつながりで 交流人口増やす

意見交換では、この間大綱地区の世帯数が減少するなかで、転出された方々のつながりを活かしながら、首都圏を中心に関係・交流人口を体験・交流を通じて増やしてきた取り組みなどが紹介されました。

今後、恒常的に特産品の製造販売ができる取り組みを行っていき、地域活性化事業の継続の必要性が語られました。

また、この地域は積

も大変。」など生活上の困難さが意見として出されました。

大綱地区は世帯数が162世帯(平成27年)から98世帯(平成27年)に減少している問題や、空き家対策、中山間地事業の現状と課題などについて意見、報告がありました。

山田守市議が出席しました。



山田 守議員

観光業関係者から 「コロナ禍の影響聞く」

市議会産業建設常任委が意見交換会

鶴岡市議会産業建設常任委員会は、10月27日に市民との意見交換会を開催しました。

意見交換会のテーマは「観光業の現状及び課題について」で、湯野浜と田良、湯田川、温海地域の旅館組合及び観光協会の代表らが参加しました。

参加者からは、次のような声が寄せられました。

●「10月1日からGO TOトラベル開始で、加盟しているところは平日も繁盛している。とはいえ、終了後は先行きが見えない。」

そもそも冬場は誘客が弱まり、その後の集客が心配だ。

湯野浜は海水浴場がメインなので感染対策をして開設できた。

しかし、来年もコロナが続けば、海水浴場の開設が心配だ。

行機関に伝えるもの、議会として調査・検討を行いその対応を明らかにするものなどにまとめ、活動に反映させることとしています。

長谷川剛市議が参加



長谷川剛議員

国内の自然エネルギー の現状と課題

庄内自然博物館推進協議会が学習会

庄内自然博物館構想推進協議会による「地域における自然エネルギー」学習会の第1回「国内の自然エネルギーの現状と課題」が10月31日、市自然学習交流館「ほとりあ」で開催され、菅井巖市議も参加しました。

「脱炭素社会に向けた潮流及び環境影響評価制度の概要」と題し、環境省東北環境事務所・環境対策課長の岩館敏昭氏が報告を行いました。

次に、県のエネルギー政策推進課の高橋徹課長が、「県の自然エネルギー戦略と事業」

市環境課・芳賀俊郎環境専門員は、市の取り組みとして再生可能エネルギー設備の普及補助や、避難施設への再エネ設備導入の状況、新ごみ焼却施設での発電事業、民間が取り組む木質バイオマス発電や、風力発電などの事業概要が報告がされました。

第2回学習会は11月20日に開催されます。



菅井 巖議員

建築課入札結果 () 内は予定価格

10月29日入札分
・市黄金コミュニティ防災センター下水道接続工事
不調

土木課入札結果 () 内は予定価格

10月29日入札分
・市道沢山木揚場線岩川橋下部工(橋台)工事(大岩川地内)(入札2業者)
菅原建設(株) 71,000,000円 (72,018,000円)
工期~3/3/26 (落札率98.59%)
・市道神楽橋十三軒町線散水消雪設備(さく井)更新工事(繰越明許)(本町二丁目地内)(入札6業者うち1業者入札書未達のため架設扱)
日本地下水開発(株) 47,500,000円 (49,685,000円)
工期~3/3/25 (落札率95.60%)

雨水事務室入札結果 () 内は予定価格

10月30日入札分
・市公共下水道事業 雨水茅原第1幹線に伴う下水道管復旧工事(宝田三丁目地内)(入札14業者)
ユーワ(株) 3,350,000円 (3,431,000円)
工期~3/3/26 (落札率97.64%)